

PGマルチペイメントサービス

モジュール・タイプJava版

(自動売上-インタフェース仕様)

2022年12月19日 1.10版

- ☑ 本書の著作権は「GMOペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

1. 自動売上機能概要	5
1.1. 自動売上機能に関する操作	5
1.2. 自動売上プラン	6
1.3. 自動売上定義	7
2. 自動売上(クレジットカード)について	8
2.1. 自動売上定義の売上対象の指定	8
2.2. 自動売上のスケジュールの指定	10
2.3. 自動売上処理における取引	11
3. 自動売上(口座振替)について	12
4. 自動売上(口座振替セレクト)について	13
5. 自動売上インタフェース仕様	14
5.1. 自動売上プランを登録する	14
5.1.1. インタフェース仕様詳細	15
5.2. 自動売上プランを変更する	17
5.2.1. インタフェース仕様詳細	18
5.3. 自動売上定義を登録する(クレジットカード)	20
5.3.1. インタフェース仕様詳細	21
5.4. 自動売上定義を登録する(口座振替)	24
5.5. 自動売上定義を登録する(口座振替セレクト)	25
5.6. 自動売上定義を解除する	26
5.6.1. インタフェース仕様詳細	26
5.7. 自動売上定義の金額を変更する	28
5.7.1. インタフェース仕様詳細	28
5.8. 自動売上定義を変更する(クレジットカード)	30
5.8.1. インタフェース仕様詳細	30
5.9. 自動売上定義を変更する(口座振替)	32
5.10. 自動売上定義を変更する(口座振替セレクト)	33
5.11. 自動売上定義を参照する	34
5.11.1. インタフェース仕様詳細	34
5.12. 自動売上処理結果を参照する	36
5.12.1. インタフェース仕様詳細	36

変更履歴

2016年4月18日 - 1.00版

新規作成

2016年10月10日 - 1.01版

- ・ 「3.2. 自動売上のスケジュールの指定」の補足事項に、自動売上定義の登録日と初回の課金日についての説明を追記

2017年5月8日 - 1.02版

- ・ 「4.6. 自動売上処理結果を参照する」のStatus項目の説明を修正

2018年2月13日 - 1.03版

- ・ ShopPass の桁数を 8、SitePass の桁数を 10 に変更

2018年4月16日 - 1.04版

- ・ 「1.2. 自動売上定義」の自動売上IDに設定可能文字を追記

2018年9月10日 - 1.05版

- ・ 「4.1. 自動売上定義を登録する(クレジットカード)」にトークンパラメータを追加
- ・ カード番号の取扱い制限について追記

2019年11月18日 - 1.06版

- ・ 「4.6.1. インタフェース仕様詳細」の Result 項目の説明を修正

2020年07月21日 - 1.07版

- ・ 「4.4.1. インタフェース仕様詳細」の出力パラメータの※1を修正

2022年02月15日 - 1.08版

- ・ 自動売上プラン登録API、プラン変更APIを追加
- ・ 口座振替セレクトを追加

2022年03月23日 - 1.09版

- ・ 「5.12.1. インタフェース仕様詳細」口座振替セレクトのStatusの備考欄を修正

2022年12月19日 - 1.10版

- ・ Webドキュメントへ移行したため、口座振替(セレクト)の記載を削除
- ・ Webドキュメントへ移行したため、口座振替の記載を削除

1. 自動売上機能概要

自動売上機能（以降、当機能）は、事前に登録した自動売上定義（課金月、課金日、利用金額、税送料、課金対象情報）に従い、定期的に売上処理を行い、売上結果を加盟店様に通知します。

本機能を利用することにより、毎月の売上アップロード作業が不要となります。

当機能を用いて売上処理が可能な機能は以下の決済手段です。

- クレジットカード
- 口座振替
- 口座振替セレクト

1.1. 自動売上機能に関する操作

当機能では、APIを用いて以下の操作が可能です。

操作	説明
自動売上プラン登録	自動売上プランを登録します。 事前に金額や課金サイクルをプランとして登録すると、定義登録時に同プランを指定することで、金額や課金サイクルを指定する必要がなくなります。
自動売上プラン変更	自動売上プランの内容を変更します。 すでにプランを利用して登録済みの定義が存在する場合、プラン変更の内容は定義へ反映されません。
自動売上定義登録	自動売上定義を登録します。 定義を登録すると、定義されたスケジュールに伴い自動売上処理が実行されます。 決済手段（クレジットカード、口座振替）ごとにAPIが異なります。
自動売上定義解除	自動売上定義を解除します。 定義を解除することにより、自動売上処理を停止することができます。
自動売上定義金額変更	自動売上定義の内容（金額のみ）を変更します。
自動売上定義変更	自動売上定義の内容を変更します。 決済手段（クレジットカード、口座振替、口座振替セレクト）ごとにAPIが異なります。
自動売上定義参照	自動売上定義を参照することができます。
自動売上結果参照	自動売上処理結果を参照することができます。

また、管理画面から以下の操作が可能です。

- 自動売上プランの登録／変更／無効化／有効化
- 自動売上定義の登録／金額変更／変更／解除／参照
- 自動売上結果の参照
- 自動売上結果ファイルのダウンロード
- 自動売上結果ファイルの通知先の登録

1.2. 自動売上プラン

自動売上プランの登録は、自動売上プラン登録APIを用いて行います。

自動売上のプラン情報は以下の項目で構成されます。

名称	意味
プランID	加盟店様が付与する自動売上プランを識別するユニークなIDです。 設定可能な文字は「半角英数字」となります。
プラン名	自動売上プランの名前です。
プラン説明	自動売上プランの説明です。
課金手段	自動売上する決済手段です。
利用金額	自動売上する利用金額です。
税送料	自動売上する税送料です。
課金日	自動売上処理を行う日です。 決済手段により指定方法が異なります。
課金月	自動売上処理を行う月です。複数の月を指定可能です。

1.3. 自動売上定義

当機能を用いて、自動売上処理を行うためには、自動売上定義を登録する必要があります。

自動売上定義の登録は、決済手段別の自動売上定義登録APIを用いて行います。

自動売上の定義情報は以下の項目で構成されます。

名称	意味
自動売上ID	加盟店様が付与する自動売上定義を識別するユニークなIDです。 設定可能な文字は「半角英数字と” - “(ハイフン)」となります。
課金日	自動売上処理を行う日です。 決済手段により指定方法が異なります。
課金月	自動売上処理を行う月です。複数の月を指定可能です。
課金開始日	自動売上を開始する日です。
課金停止日	自動売上を停止する日です。
利用金額	自動売上する利用金額です。
税送料	自動売上する税送料です。
売上対象	売上げ対象となる情報です。 決済手段により指定方法が異なります。 ※詳細については、各決済手段の自動売上定義登録APIの説明を参照してください。

2. 自動売上(クレジットカード)について

ここでは、クレジットカードの自動売上処理について説明します。

2.1. 自動売上定義の売上対象の指定

自動売上定義において売上対象のクレジットカード情報を以下の方法で指定します。

- 会員IDで指定

以下の会員ID情報で売上対象を指定します。

「サイトID」「サイトパスワード」「会員ID」「カード登録連番」

指定した会員IDのデフォルトカードに対して自動売上処理を行います。

会員に対して複数枚のカードを登録している場合、カード登録連番を指定することで売り上げ対象のカードを指定できます。省略時はデフォルトカードを使用します。物理モードでのカード登録連番です。

対象となるカードの洗替から31日以上経過している、もしくは未洗替の場合はカード登録から31日以上経過している場合は、有効性チェックが行われクレジットカードが有効な場合のみ登録されます。

なお、デフォルトカードを使用する場合、会員IDに登録されているデフォルトカードの内容が変更されることにより、売上対象のクレジットカードが変わる可能性があります。

- クレジットカード番号で指定

以下のクレジットカード情報で売上対象を指定します。

「クレジットカード番号」「有効期限」

指定されたカード番号の有効性チェックが行われ、クレジットカードが有効な場合のみ登録されます。

この方法は、カード番号の取扱いが許可された加盟店様の場合のみ指定可能です。

詳細については後述の「入出力パラメータのカード番号の制限について」をご覧ください。

- 取引で指定

以下の取引情報で売上対象を指定します。

「オーダーID」

取引で使用されたカード情報が売上対象となります。

(取引が会員ID決済の場合でも、その取引で使用された会員のカード情報が売上対象となります。会員IDが売上対象にならない点ご注意ください)

取引が仮売上／即時売上／有効性チェックで決済成功の場合のみ登録されます。

なお、決済成功の場合でも取引から31日以上経過していた場合は、有効性チェックが行われクレジットカードが有効な場合のみ登録されます。

- トークンで指定

以下の取引情報で売上対象を指定します。

「カード情報トークン」

指定されたカード情報トークンのカードに対して自動売上処理を行います。

入出力パラメータのカード番号の制限について

各APIの入力パラメータのカード番号(CardNo)は、カード番号の取扱いが許可された加盟店様の場合のみ指定可能です。

カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、入力パラメータのカード番号(CardNo)を指定してAPIを呼び

出すとエラーコード“E61040001”が返却されます。(カード番号の代わりにトークンを指定してAPIを呼び出してください)

また、各APIの出力パラメータのカード番号(CardNo)は、設定により任意のマスク形式で返却可能ですが、カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、最大で先頭6桁末尾4桁以外をマスクした形式で返却されます。

2.2. 自動売上のスケジュールの指定

自動売上処理のスケジュールは、自動売上定義の以下の項目を用いて行います。

■課金日

任意の日を指定可能です。

指定した日が月末日よりも大きい場合は、月末日に処理されます。

(課金日=31を指定した場合、4月は4月30日に自動売上を実行します)

■課金月

任意の月を指定可能です。

"|" (パイプ) で区切るにより複数月を指定可能です。省略した場合は毎月として処理されます。

例-1) 課金月=2 …2月に自動売上を実行

例-2) 課金月=2|4|6|8 …2月、4月、6月、8月に自動売上を実行

例-3) 課金月=(ブランク) …毎月 自動売上を実行

■課金開始日

自動売上処理を開始する日付を指定します。

翌日以降で3ヶ月以内の日付が指定可能です。(省略した場合は、翌日として扱われます)

課金開始日～課金停止日の期間、自動課金処理が行われます。

■課金停止日

自動売上処理を停止する日付を指定します。(省略した場合は、無期限として扱われます)

課金開始日～課金停止日の期間、自動課金処理が行われます。

スケジュール登録例

自動売上定義		売上日
以下の内容を2016/1/5に登録		2016/1/1 登録日の時点で当月の課金日がすでに経過している場合、自動売上処理は行われません。 2016/2/1 2016/3/1 2016/4/1 2016/5/1 課金停止日に到達しているため自動売上処理は行われません。
課金日	1	
課金月	1 2 3 4 5 6 7	
課金開始日	2016/1/8	
課金停止日	2016/5/1	

補足事項

- 自動売上処理は、自動売上定義の課金停止日に到達するか、明示的に自動売上解除APIを呼び出すまで繰り返し実行されます。
- 自動売上処理において決済エラーが発生した場合でも、次回の課金日には自動売上処理が実行されます。エラーが発生した自動売上を停止したい場合は、明示的に自動売上定義解除を行ってください。

2.3. 自動売上処理における取引

自動売上定義の指定されたスケジュールに従い、以下の内容でクレジットカード取引を自動的に行います。

オーダーID	以下のフォーマットで自動採番 {自動売上ID}+{自動売上実行日時(YMMDDHHMMSS)}
処理区分	CAPTURE (即時売上)
利用金額	自動売上定義の利用金額+税送料
支払方法	一括

自動売上機能で実行された取引は、通常のクレジットカード決済の取引と同じように処理(取消/返品/金額変更)が可能です。

(プロトコルタイプ/モジュールタイプの取消APIもしくは管理画面の取引詳細画面から可能)

3. 自動売上(口座振替)について

ドキュメント統合しましたので、今後は「口座振替サービス」をご参照ください。

4. 自動売上(口座振替セレクト)について

ドキュメント統合しましたので、今後は「口座振替サービス」をご参照ください。

5. 自動売上インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

5.1. 自動売上プランを登録する

自動売上のプランを登録します。

登録したプランを用いて、金額や課金サイクルを指定せずに定義登録をすることができます。

補足事項)

- ・プランIDには重複しないユニークなIDを指定してください。
- ・プランは100件まで登録可能です。

5.1.1. インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

プランID、プラン名、プラン説明、課金情報（課金手段、スケジュール、金額）を指定して、自動売上のプランを登録します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doRegisterRecurringPlan	RegisterRecurringPlanInput	RegisterRecurringPlanOutput	自動売上プラン登録インタフェースを使用して、プラン登録を実施します。

【RegisterRecurringPlanInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【RegisterRecurringPlanOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本機能)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	PlanID	◎	String	32	プランID	加盟店様が自動売上プランを識別するための値を設定します。
4	PlanName	◎	String	200	プラン名	
5	Description		String	300	プラン説明	
6	Method	◎	String	2	課金手段	以下を指定します。 01：クレジットカード
7	Amount	◎	Integer	8	利用金額	Method=01（クレジットカード）の場合、最大桁数は7桁です。
8	Tax		Integer	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が自動売上金額となります。
9	ChargeMonth		String	36	課金月	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が自動売上金額となります。
10	ChargeDay	●	String	2	課金基準日	自動売上を行う日を指定します。 Method=01（クレジットカード）の場合に必須です。 Method=01（クレジットカード）の場合、01~31で指定します。指定した日が月末日よりも大きい場合は、月末日に処理されます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(本機能⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	String	13	ショップID	入力パラメータの値を返却します。
2	PlanID	-	String	32	プランID	入力パラメータの値を返却します。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

5.2. 自動売上プランを変更する

自動売上のプラン内容を変更します

自動売上プランにおいて変更可能な項目は以下のとおりです。

- ・ プラン名
- ・ プラン説明
- ・ 利用金額
- ・ 税送料
- ・ 課金月
- ・ 課金基準日

補足事項)

- ・ 変更対象のプランを利用して登録した定義が存在する場合、プラン変更の内容は定義へ反映されません。

5.2.1. インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

プランIDを指定して、自動売上のプラン内容を変更します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doChangeRecurringPlan	ChangeRecurringPlan Input	ChangeRecurringPlan Output	自動売上プラン変更インタフェースを使用して、プラン変更を実施します。

【ChangeRecurringPlan Input】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ChangeRecurringPlan Output】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本機能)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	PlanID	◎	String	32	プランID	加盟店様が自動売上プランを識別するための値を設定します。
4	PlanName		String	200	プラン名	
5	Description		String	300	プラン説明	
6	Method	◎	String	2	課金手段	以下を指定します。 01：クレジットカード
7	Amount		Integer	8	利用金額	Method=01（クレジットカード）の場合、最大桁数は7桁です。
8	Tax		Integer	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が自動売上金額となります。
9	ChargeMonth		String	36	課金月	自動売上を行う月を01～12で指定します。“ ”で区切るにより複数の月を指定可能です。
10	ChargeDay		String	2	課金基準日	自動売上を行う日を指定します。Method=01（クレジットカード）の場合、01～31で指定します。指定した日が月末日よりも大きい場合は、月末日に処理されます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(本機能⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	String	13	ショップID	入力パラメータの値を返却します。
2	PlanID	-	String	32	プランID	入力パラメータの値を返却します。
3	PlanName	-	String	200	プラン名	指定された自動売上プランの値を返却します。
4	Description	-	String	300	プラン説明	指定された自動売上プランの値を返却します。
5	Method	-	String	2	課金手段	指定された自動売上プランの値を返却します。
6	Amount	-	Integer	8	利用金額	指定された自動売上プランの値を返却します。
7	Tax	-	Integer	7	税送料	指定された自動売上プランの値を返却します。
8	ChargeMonth	-	String	36	課金月	指定された自動売上プランの値を返却します。
9	ChargeDay	-	String	2	課金基準日	指定された自動売上プランの値を返却します。
10	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

5.3. 自動売上定義を登録する（クレジットカード）

自動売上の定義を登録します。

自動売上定義の登録すると、指定された売上対象のクレジットカードに対して、指定されたスケジュールで定期的に自動売上処理を行い、自動売上結果ファイルを通知します。

補足事項)

- ・ 自動売上IDには重複しないユニークなIDを指定してください。
- ・ 自動売上IDは自動売上の取引実行時のオーダーIDの一部として使用されます。

通常の取引と自動売上処理の取引のオーダーIDが重複しないようご注意ください。

5.3.1. インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

自動売上ID、課金情報（スケジュール、金額）、売上対象情報(カード情報/会員ID/取引)を指定して、自動売上の定義を登録します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doRegisterRecurringCredit	RegisterRecurringCreditInput	RegisterRecurringCreditOutput	自動売上（クレジットカード）定義登録インタフェースを使用して、定義登録を実施します。

【RegisterRecurringCreditInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【RegisterRecurringCreditOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本機能)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	RecurringID	◎	String	15	自動売上ID	加盟店様が自動売上定義を識別するための値を設定します。 本値は自動売上の取引のオーダーIDの一部として使用されます。
4	PlanID		String	32	プランID	加盟店様が登録したプランIDを指定します。
5	Amount	●	Integer	7	利用金額	プランIDが指定されていない場合、必須です。 ※プランIDが指定されている場合、利用金額は指定できません。
6	Tax		Integer	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が自動売上金額となります。※プランIDが指定されている場合、利用金額は指定できません。 ※プランIDが指定されている場合、税送料は指定できません。
7	ChargeDay	●	String	2	課金基準日	プランIDが指定されていない場合、必須です。自動売上を行う日を01～31で指定します。 指定した日が月末日より大きい場合は、月末日に処理されます。 ※プランIDが指定されている場合、課金日は指定できません。
8	ChargeMonth		String	36	課金月	自動売上を行う月を01～12で指定します。 " "で区切るにより複数の月を指定可能です。 省略した場合は、毎月として扱われます。 ※プランIDが指定されている場合、課金月は指定できません。
9	ChargeStartDate		String	8	課金開始日	自動売上処理を開始する日をyyyyMMdd形式で指定します。 3ヶ月以内の日付を指定してください。

						省略した場合は、翌日が指定されます。
10	ChargeStopDate		String	8	課金停止日	自動売上処理を停止する日をyyyyMMdd形式で指定します。 省略した場合は、無期限として扱われます。
11	RegistType	◎	String	1	売上対象種別	売上対象の指定方法を以下のいずれかから選択します。 1：会員ID指定 2：カード番号指定 ※ 3：取引指定 4：トークン指定 ※カード番号の取扱いが許可された加盟店様のみ設定可能です。
12	SiteID	●	String	13	サイトID	RegistType=1(会員ID指定)の場合に必須です。
13	SitePass	●	String	10	サイトパスワード	RegistType=1(会員ID指定)の場合に必須です。
14	MemberID	●	String	60	会員ID	RegistType=1(会員ID指定)の場合に必須です。
15	CardSeq		Integer	4	カード登録連番	RegistType=1(会員ID指定)の場合に有効です。 会員に対して複数枚のカードを登録している場合、カード登録連番(物理モード)を指定することで売り上げ対象のカードを指定できます。省略時はデフォルトカードを使用します。
16	CardNo	●	String	16	カード番号	RegistType=2(カード番号指定)の場合に必須です。 ※カード番号の取扱いが許可された加盟店様のみ設定可能です。
17	Expire	●	String	4	有効期限	RegistType=2(カード番号指定)の場合に必須です。 YYMM形式で指定します。 ※カード番号の取扱いが許可された加盟店様のみ設定可能です。
18	SrcOrderID	●	String	27	オーダーID	RegistType=3(取引指定)の場合に必須です。
19	Token	●	CHAR	-	カード情報トークン	RegistType=4(トークン指定)の場合に必須です。 カード番号トークン化サービスで取得したトークンを設定してください。 トークンが指定された場合、トークン取得時に指定したカード番号・有効期限・セキュリティコードが利用されます。
20	ClientField1		String	100	加盟店自由項目1	
21	ClientField2		String	100	加盟店自由項目2	
22	ClientField3		String	100	加盟店自由項目3	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(本機能⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	String	13	ショップID	入力パラメータの値を返却します。
2	RecurringID	-	String	15	自動売上ID	入力パラメータの値を返却します。
3	Amount	-	Integer	7	利用金額	入力パラメータの値を返却します。
4	Tax	-	Integer	7	税送料	入力パラメータの値を返却します。
5	ChargeDay	-	String	2	課金日	入力パラメータの値を返却します。
6	ChargeMonth	-	String	36	課金月	入力パラメータの値を返却します。
7	ChargeStartDate	-	String	8	課金開始日	入力パラメータの値を返却します。
8	ChargeStopDate	-	String	8	課金停止日	入力パラメータの値を返却します。
9	NextChargeDate	-	String	8	次回課金日	次回(初回)の課金日を返却します。
10	Method	-	String	16	課金手段	固定値“RECURRING_CREDIT” (クレジットカード)を返却します。
11	SiteID	-	String	13	サイトID	入力パラメータの値を返却します。
12	MemberID	-	String	60	会員ID	入力パラメータの値を返却します。
13	CardSeq	-	Integer	4	カード登録連番	入力パラメータの値を返却します。
14	CardNo	-	String	16	カード番号	マスクされたカード番号を返却します。 (※1) ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
15	Expire	-	String	4	有効期限	有効期限を返却します。(※1)
16	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：会員ID指定で登録した場合、CardNo,Expireは返却されません

5.4. 自動売上定義を登録する（口座振替）

ドキュメント統合しましたので、今後は「口座振替サービス」をご参照ください。

5.5. 自動売上定義を登録する（口座振替セレクト）

ドキュメント統合しましたので、今後は「口座振替サービス」をご参照ください。

5.6. 自動売上定義を解除する

自動売上の定義を解除します。

自動売上処理を停止したい場合は、本インターフェースを用いて自動売上定義の解除を行ってください。

補足事項)

- ・当日が課金日の場合は解除できません。

5.6.1. インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

自動売上IDを指定して、自動売上の定義を解除します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doUnregisterRecurring	UnregisterRecurringInput	UnregisterRecurringOutput	自動売上定義解除インターフェースを使用して、定義解除を実施します。

【UnregisterRecurringInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【UnregisterRecurringOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本機能)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	RecurringID	◎	String	15	自動売上ID	解除対象の自動売上IDを設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(本機能⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	String	13	ショップID	入力パラメータの値を返却します。
2	RecurringID	-	String	15	自動売上ID	入力パラメータの値を返却します。
3	Amount	-	Integer	7	利用金額	指定された自動売上定義の値を返却します。
4	Tax	-	Integer	7	税送料	指定された自動売上定義の値を返却します。
5	ChargeDay	-	String	2	課金日	指定された自動売上定義の値を返却します。
6	ChargeMonth	-	String	36	課金月	指定された自動売上定義の値を返却します。
7	ChargeStartDate	-	String	8	課金開始日	指定された自動売上定義の値を返却します。
8	ChargeStopDate	-	String	8	課金停止日	指定された自動売上定義の値を返却します。
9	NextChargeDate	-	String	8	次回課金日	空文字を返します。
10	Method	-	String	16	課金手段	売上手段を返却します。 "RECURRING_CREDIT"(クレジットカード)
11	SiteID	-	String	13	サイトID	指定された自動売上定義の値を返却します。
12	MemberID	-	String	60	会員ID	指定された自動売上定義の値を返却します。
13	CardNo	-	String	16	カード番号	指定された自動売上定義の値を返却します。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
14	Expire	-	String	4	有効期限	指定された自動売上定義の値を返却します。
15	PrintStr	-	String	15	通帳記載内容	指定された自動売上定義の値を返却します。
16	Remarks	-	String	15	請求内容	指定された自動売上定義の値を返却します。
17	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

5.7. 自動売上定義の金額を変更する

自動売上定義の金額を変更します。

自動売上金額変更APIにおいて変更可能な項目は以下のとおりです。

- ・ 利用金額
- ・ 税送料

補足事項)

- ・ 当日が課金日の場合は変更できません。

5.7.1. インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

自動売上IDを指定して、自動売上定義の金額を変更します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doChangeRecurring	ChangeRecurringInput	ChangeRecurringOutput	自動売上金額変更インタフェースを使用して、金額変更を実施します。

【ChangeRecurringInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ChangeRecurringOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本機能)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	RecurringID	◎	String	15	自動売上ID	変更対象の自動売上IDを設定します。
4	Amount	◎	Integer	7	利用金額	
5	Tax		Integer	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が自動売上金額となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本機能⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	String	13	ショップID	入力パラメータの値を返却します。
2	RecurringID	-	String	15	自動売上ID	入力パラメータの値を返却します。
3	Amount	-	Integer	7	利用金額	指定された自動売上定義の値を返却します。
4	Tax	-	Integer	7	税送料	指定された自動売上定義の値を返却します。
5	ChargeDay	-	String	2	課金基準日	指定された自動売上定義の値を返却します。
6	ChargeMonth	-	String	36	課金月	指定された自動売上定義の値を返却します。
7	ChargeStartDate	-	String	8	課金開始日	指定された自動売上定義の値を返却します。
8	ChargeStopDate	-	String	8	課金停止日	指定された自動売上定義の値を返却します。
9	NextChargeDate	-	String	8	次回課金日	次回の課金日を返却します。
10	Method	-	String	16	課金手段	売上手段を返却します。 "RECURRING_CREDIT"(クレジットカード)
11	SiteID	-	String	13	サイトID	指定された自動売上定義の値を返却します。
12	MemberID	-	String	60	会員ID	指定された自動売上定義の値を返却します。
13	CardNo	-	String	16	カード番号	指定された自動売上定義の値を返却します。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
14	Expire	-	String	4	有効期限	指定された自動売上定義の値を返却します。
15	PrintStr	-	String	15	通帳記載内容	指定された自動売上定義の値を返却します。
16	Remarks	-	String	15	請求内容	指定された自動売上定義の値を返却します。
17	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

5.8. 自動売上定義を変更する（クレジットカード）

自動売上の定義を変更します。

自動売上定義において変更可能な項目は以下のとおりです。

- ・ 利用金額
- ・ 税送料
- ・ 課金月
- ・ 課金基準日
- ・ 課金停止日

補足事項)

- ・ 当日が課金日の場合は変更できません。
- ・ 課金月、課金基準日を変更する場合、次回課金日がクリアされ、新たな次回課金日を算出します。
変更前の次回課金日での課金は発生しないためご注意ください。

5.8.1. インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

自動売上IDを指定して、自動売上の定義を変更します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doChangeRecurringCredit	ChangeRecurringCreditInput	ChangeRecurringCreditOutput	自動売上定義変更インタフェースを使用して、定義変更を実施します。

【ChangeRecurringCreditInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ChangeRecurringCreditOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本機能)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	RecurringID	◎	String	15	自動売上ID	変更対象の自動売上IDを設定します。
4	PlanID		String	32	プランID	加盟店様が登録したプランIDを指定します。
5	Amount		Integer	7	利用金額	※プランIDが指定されている場合、利用金額は指定できません。
6	Tax		Integer	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が自動売上金額となります。 ※プランIDが指定されている場合、税送料は指定できません。
7	ChargeMonth		String	36	課金月	自動売上を行う月を01~12で指定します。“ ”で区切ることにより複数の月を指定可能です。

						※プランIDが指定されている場合、課金月は指定できません。
8	ChargeDay		String	2	課金基準日	自動売上を行う日を01～31で指定します。指定した日が月末日よりも大きい場合は、月末日に処理されます。 ※プランIDが指定されている場合、課金日は指定できません。
9	ChargeStopDate		String	8	課金停止日	自動売上処理を停止する日をyyyyMMdd形式で指定します。
10	UpdateType		String	1	更新区分	課金停止日を更新するかを指定するフラグです。以下のいずれかを設定します。 1:課金停止日を更新する(デフォルト) 2:課金停止日を更新しない ※1を指定した場合、ChargeStopDateが未指定でもnull更新されます。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本機能⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	String	13	ショップID	入力パラメータの値を返却します。
2	RecurringID	-	String	15	自動売上ID	入力パラメータの値を返却します。
3	Amount	-	Integer	7	利用金額	指定された自動売上定義の値を返却します。
4	Tax	-	Integer	7	税送料	指定された自動売上定義の値を返却します。
5	ChargeMonth	-	String	36	課金月	指定された自動売上定義の値を返却します。
6	ChargeDay	-	String	2	課金基準日	指定された自動売上定義の値を返却します。
7	ChargeStartDate	-	String	8	課金開始日	指定された自動売上定義の値を返却します。
8	ChargeStopDate	-	String	8	課金停止日	指定された自動売上定義の値を返却します。
9	NextChargeDate	-	String	8	次回課金日	次回の課金日を返却します。
10	Method	-	String	16	課金手段	売上手段を返却します。 "RECURRING_CREDIT"(クレジットカード)
11	SiteID	-	String	13	サイトID	指定された自動売上定義の値を返却します。
12	MemberID	-	String	60	会員ID	指定された自動売上定義の値を返却します。
13	CardSeq	-	Integer	4	カード登録連番	指定された自動売上定義の値を返却します。
14	CardNo	-	String	16	カード番号	指定された自動売上定義の値を返却します。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
15	Expire	-	String	4	有効期限	指定された自動売上定義の値を返却します。
16	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

5.9. 自動売上定義を変更する（口座振替）

ドキュメント統合しましたので、今後は「口座振替サービス」をご参照ください。

5.10. 自動売上定義を変更する（口座振替セレクト）

ドキュメント統合しましたので、今後は「口座振替サービス」をご参照ください。

5.11. 自動売上定義を参照する

自動売上上の定義を参照します。

5.11.1. インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

自動売上IDを指定して、自動売上定義を参照します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSearchRecurring	SearchRecurringInput	SearchRecurringOutput	自動売上定義照会インタフェースを使用して、定義照会を実施します。

【SearchRecurringInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SearchRecurringOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本機能)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	RecurringID	◎	String	15	自動売上ID	参照対象の自動売上IDを設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(本機能⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	String	13	ショップID	入力パラメータの値を返却します。
2	RecurringID	-	String	15	自動売上ID	入力パラメータの値を返却します。
3	Amount	-	Integer	7	利用金額	指定された自動売上定義の値を返却します。
4	Tax	-	Integer	7	税送料	指定された自動売上定義の値を返却します。
5	ChargeDay	-	String	2	課金日	指定された自動売上定義の値を返却します。
6	ChargeMonth	-	String	36	課金月	指定された自動売上定義の値を返却します。
7	ChargeStartDate	-	String	8	課金開始日	指定された自動売上定義の値を返却します。
8	ChargeStopDate	-	String	8	課金停止日	指定された自動売上定義の値を返却します。
9	NextChargeDate	-	String	8	次回課金日	次回の課金日を返却します。 自動売上定義が課金停止日に到達しているか、解除されている場合は、空文字を返却します。
10	Method	-	String	16	課金手段	売上手段を返却します。 "RECURRING_CREDIT"(クレジットカード)
11	SiteID	-	String	13	サイトID	指定された自動売上定義の値を返却します。
12	MemberID	-	String	60	会員ID	指定された自動売上定義の値を返却します。
13	CardNo	-	String	16	カード番号	指定された自動売上定義の値を返却します。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
14	Expire	-	String	4	有効期限	指定された自動売上定義の値を返却します。
15	PrintStr	-	String	15	通帳記載内容	指定された自動売上定義の値を返却します。
16	Remarks	-	String	15	請求内容	指定された自動売上定義の値を返却します。
17	CheckMode	-	String	16	口座有効性チェックモード	指定された自動売上定義の値を返却します。
18	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

5.12. 自動売上処理結果を参照する

自動売上IDを指定して、直近の自動売上処理結果を取得します。

決済手段により取得可能な処理結果対象およびデータ形式が異なります。

- クレジットカードの場合

当該自動売上IDに対する**前回**の自動売上処理結果が取得可能です。

- 口座振替、口座振替セレクトの場合

ドキュメント統合しましたので、今後は「口座振替サービス」をご参照ください。

5.12.1. インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

自動売上IDを指定して、自動売上結果を参照します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSearchRecurringResult	SearchRecurringResultInput	SearchRecurringResultOutput	自動売上結果照会インターフェイスを使用して、結果照会を実施します。

【SearchRecurringResultInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SearchRecurringResultOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本機能)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	RecurringID	◎	String	15	自動売上ID	参照対象の自動売上IDを設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本機能⇒加盟店様)

■クレジットカードの場合

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Method	-	String	22	課金手段	売上手段を返却します。 "RECURRING_CREDIT"(クレジットカード) 固定
2	ShopID	-	String	13	ショップID	指定された自動売上定義の値を返却します。
3	RecurringID	-	String	15	自動売上ID	指定された自動売上定義の値を返却します。
4	OrderID	-	String	27	オーダーID	
5	ChargeDate	-	String	8	課金日	yyyMMdd書式
6	Status	-	String	7	取引状態	取引状態を返却します。 (空) : 自動売上未実施 INVALID : 自動売上不可 (該当会員の削除等により自動売上ができな かった場合) REGIST : 自動売上処理中 CAPTURE : 自動売上成功 FAIL : 自動売上エラー (自動売上を行ったが、カード会社からエラー が返された場合)
7	Amount	-	Integer	7	利用金額	
8	Tax	-	Integer	7	税送料	
9	NextChargeDate	-	String	8	次回課金日	yyyMMdd書式
10	AccessID	-	String	32	アクセスID	
11	AccessPass	-	String	32	アクセスパスワード	
12	Forward	-	String	15	仕向先コード	
13	ApprovalNo	-	String	7	承認番号	
14	ChargeErrCode	-	String	3	自動売上エラーコード	自動売上処理のエラーコードを返却します。
15	ChargeErrInfo	-	String	9	自動売上エラー詳細 コード	自動売上処理のエラー詳細コードを返却し ます。
16	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss形式
17	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	本API呼び出しでのエラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	本API呼び出しでのエラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	本API呼び出しでのエラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	本API呼び出しでのエラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

■口座振替、口座振替セレクトの場合

ドキュメント統合しましたので、今後は「口座振替サービス」をご参照ください。